



## 木材流通のハブであるプレカット材産業の産業連関構造

林業経営・政策研究領域: 森井 拓哉

**私** たちが木材を利用することは、日本の森林にどれだけの影響を与えるのでしょうか。産業連関表の「その他の木製品」からプレカット材を分離することで、より精緻な分析を可能にしました。

### ■ 木材利用の促進から循環型社会へ

全国的に推進されている「木を使う」取り組みの目的は、都市の脱炭素化だけでなく、森林資源の活用による循環型社会への転換や地域林業等の振興に及びます。その具体的な方策を検討するために、まずは私たちの木材利用と森林管理の繋がりを解明することが重要です。我が国の消費と生産の関係を示す「産業連関表\*」は、産業間の繋がりの分析に有用な統計資料で(図1)、林業と木材産業は「育林」「素材」「特用林産物」「製材」「合板・集成材」「木材チップ」「その他の木製品」の7つの産業に分類されています。

### ■ 産業の連関構造の調査

近年、木材を建設現場へ運ぶ前に、あらかじめ接合部などに機械プレカット加工を施す産業が発展しており、商流・物流ともに木材流通のハブとなっています。しかし、産業連関表の産業分類はこの動向に対応しておらず、プレカット材は「その他の木製品」に含まれています。そこで、全国の事業所を対象とする郵送調査に基づいて「プレカット材」だけを分離し、独立して分析できるようにしました。

### ■ 木材流通のハブ:プレカット材産業

「プレカット材」だけを分離したことで、その生産活動の特性が明らかになりました。集成材、製材及び合板などの主要な建築用材のほとんどが「プレカット材」産業を経由して建設産業へ流通していることが示されました(図2)。一方、プレカット材以外の「その他の木製品」産業には、木材チップが多く流入していることが分かり、繊維板製造業\*などの存在が浮き彫りになりました。この成果は、日本経済における平均的なプレカット材産業の実態を明らかにしたもので、各地域の経済波及効果分析にも応用できる汎用性を備えています。木材流通構造の可視化や

林業への影響評価を通じて、循環型社会への転換方策や地域林業の振興策の検討に資することが期待されます。

### 専門用語

**産業連関表:** 国内産業が生産活動を通じて相互にどう関係しているかを金額で網羅的に示した統計資料です。公的統計の中でも特に重要な「基幹統計」であり、従来、国内総生産(GDP)の計算根拠になる等、経済構造を知るための資料として整備されてきました。

**繊維板製造業:** 木質の板状材料を製造する産業で、統計上はその他の木製品産業に含まれます。木材チップを繊維状に細分し、接着剤を用いて熱圧する加工工程を経て、建設産業や製造業全般に向けて販売します。

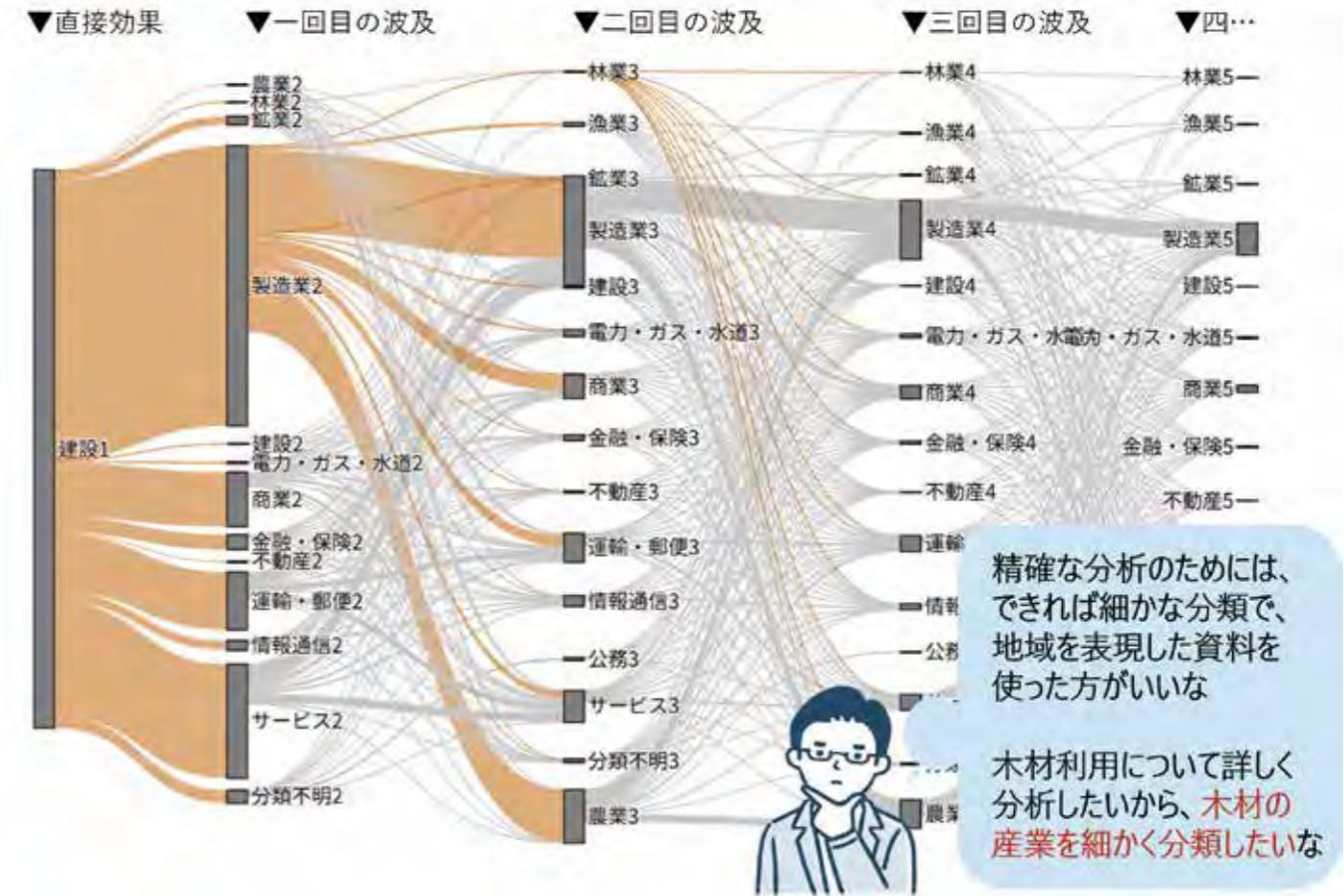
**産業連関分析:** 産業連関表を用いて、消費活動が地域経済に及ぼす生産誘発効果を計算する手法です。林野庁の「建築物への木材利用に係る評価ガイダンス」(2024年)では、森林資源の活用による地域貢献の定量化手法として挙げられました。

### 研究資金

・本研究所の実施課題「多様化する森林との関わりを支える社会経済的・政策的方策の提示」

### 参考文献・サイト

森井拓哉・長坂健司・井上雅文(2025)プレカット材部門の新設による木材利用の分析に適した拡張産業連関表の開発. 木材学会誌, 71(3), 93-100.



「私」が考えたのは、**木材利用について詳しく分析したいから、木材の産業を細かく分類したいな**という思いから、**地域を表現した資料を使った方がいいな**という思いから、**できれば細かな分類で、**

図1 産業連関分析\*のイメージ:建設産業の生産活動が他の産業に波及する様子

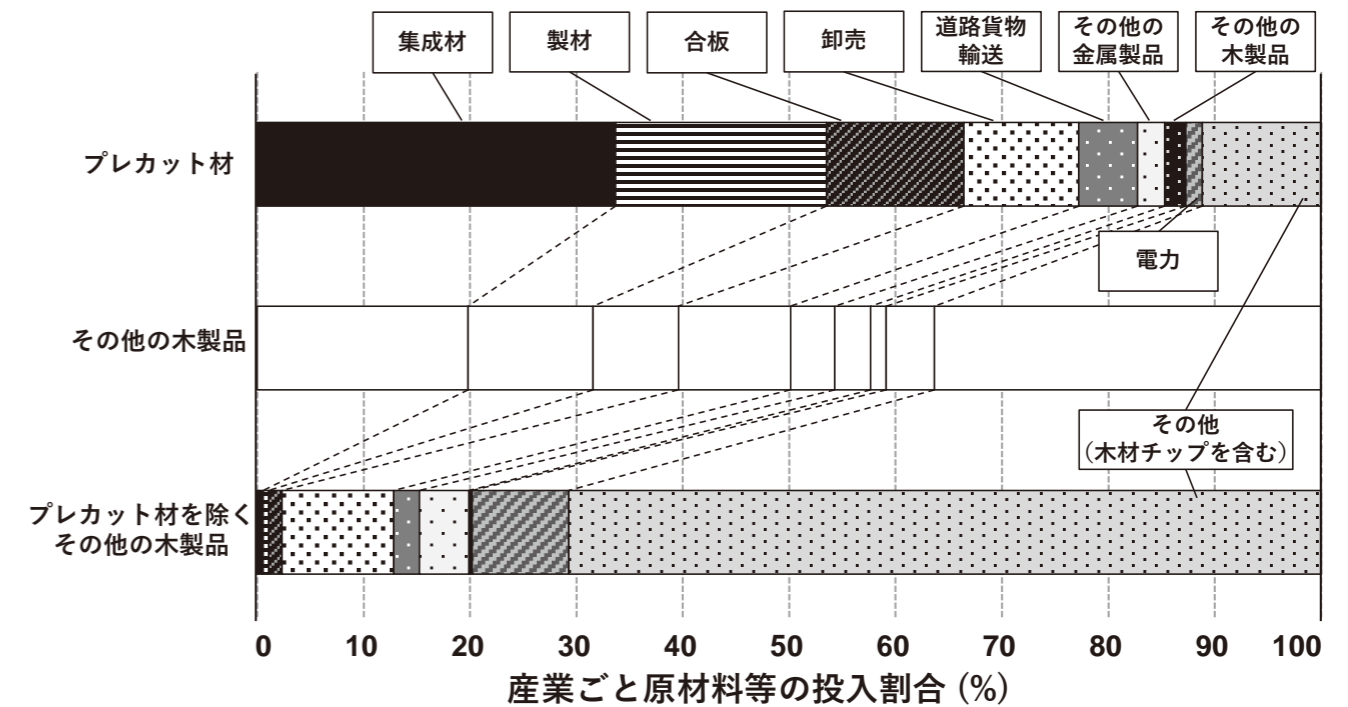


図2 プレカット材産業、「その他の木製品」産業、プレカット材を除く「その他の木製品」産業の原材料等投入割合の比較(森井ら(2025))